

令和4年度第6回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年12月22日(木)午後2時～午後4時5分
- 2 開催場所 印西市役所会議棟 204会議室
- 3 出席者 桜井 繁光 委員、押田 香代子 委員、井上 愛一郎 委員、
坂木 武伸 委員、渡邊 義規 委員
- 4 欠席者 内田 圭子 委員
- 5 事務局 大木教育長、土屋教育部長、伊藤教育総務課長、秋本教育総務課長補佐、
佐久間学務課長、大知副参事、小名木係長、小森谷主査
- 6 傍聴者 2名
- 7 議事 (1) 学校適正配置のシミュレーション【本埜中学校区】(案)について
(2) 学校適正配置のシミュレーション【滝野中学校区】(案)について
(3) 義務教育学校の学校適正規模の考え方について
(4) 印西市における学校適正配置のシミュレーション(案)について
(5) その他
- 8 議事録 (要点筆記)

事務局 本日はご多用のところ、当審議会の会議にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。

まず、本日、内田委員におかれましては、所用により、欠席の旨、ご連絡があったことをご報告させていただきます。

続いて、配付資料の確認をさせていただきます。

会議次第、資料1から資料4、参考資料1、参考資料2、参考資料3となっておりますが、不足はございませんでしょうか。

<不足なし>

事務局 次に、会議の公開と傍聴についてでございますが、当審議会につきましては、印西市市民参加条例第11条第4項の規定により、原則公開とさせていただきます。

また、傍聴につきましては、同条例施行規則第12条第3項の規定に基づき、事務局が作成した傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告いたします。

なお、現時点での傍聴者は1名でございますが、会議途中で傍聴の希望があった場合には、随時、入室を許可したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、会議の録音及び会議録の署名についてでございます。

当審議会の会議につきましては、会議録を作成する都合上、録音させていただきます。

また、会議録の署名につきましては、毎回2名の委員の方をお願いしており、本日は、桜井委員と押田委員をお願いいたします。

なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所の行政資料室への設置やホームページへの掲載により公表いたします。

会議録の公表にあたりましては、発言者の氏名を伏して行いますことを申し添えます。

それでは只今より、令和4年度第6回印西市学校適正配置審議会を開催いたします。

はじめに、会議の開催について、ご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席委員は、6名中5名でございますので、同条例の規定に基づく定足数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

それでは、会議次第に従い、会議を進めてまいります。

はじめに、次第の2、会長あいさつ、井上会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

会長 本日の審議会ですが、前回に引き続き、本埜中学校と滝野中学校の学校適正配置のシミュレーション案の検討の後、隣接する中学校区との学校の統合等を含めた最終的な印西市における学校適正配置のシミュレーション案の検討が主な検討事項となっておりますので、ご意見の程よろしくをお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。
それでは早速、議事に入りたいと思います。
ここから先の進行は、井上議長をお願いいたします。

議長 それでは、次第の3、議事に入ります。
本日は、4つの議題がございますが、議題（1）と議題（2）については、前回からの継続審議となりますので、よろしくをお願いいたします。
なお、前回と同様に、会議の時間は2時間を目安とし、全ての議題について、審議が終わらなかった場合には、次回の継続審議とさせていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、早速ではございますが、(1) 学校適正配置のシミュレーション、本埜中学校区(案)についてを議題とします。
 事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 それでは、始めに、資料に関して、何かご質問等があれば、よろしくお願ひいたします。

 <意見等なし>

議長 それでは、次に、本埜中学校区の学校適正配置のシミュレーション案について、ご意見、ご質問はございますか。

委員 資料にも記載がありますが、本埜小学校における小規模特認校制度の導入については、船穂小学校の小規模特認校制度の効果を検証する必要があると思います。
 また、本埜中学校区については、1小学校1中学校の学区のため、この中学校区だけでは適正規模化を図ることはできませんので、中学校区を超えて、検討しなくてはならないと思います。

議長 他にございますか。

委員 以前に本埜中学校区の保護者にアンケート調査を実施していただいたと思いますが、その結果によると、小学校の保護者の7割、中学校の保護者の4割の方が本埜中学校と滝野中学校との統合に賛成という意見だったと思いますので、そういった意見も参考にしながら、他の中学校区との兼ね合いを検討していった方が良いと思います。

議長 他にいかがでしょうか。

委員 昨日、本埜中学校区の保護者との意見交換会があったと思いますが、そのときに保護者から出た主な意見などを教えてください。

事務局 昨日、本埜中学校区の保護者との意見交換会を開催し、小規模特認校制度を導入した結果等について報告をさせていただき、その後、意見交換を行いました。
 出席者については、保護者の方は10名でございまして、内容としましては、本埜中学校の現状と小規模特認校制度を導入した結果、利用者が今年度は2名、

来年度の予定として3名となっていることをご報告させていただきました。

主な意見といたしましては、小規模の良さがあるので、このまま本埜中学校を存続してほしいという意見がございましたが、今後、更に小規模化が進み、事務職員や養護教諭が配置できなくなってしまう状況になる場合には、学校運営が非常に厳しいことをお伝えしたところ、保護者からは、急に廃校にされては困るため、引き続き、情報提供や意見交換会の開催をお願いしたいといったご意見があったところでございます。

議長 他にございますか。

<意見等なし>

議長 本埜中学校区については、この中学校区だけでは適正規模化を図ることができないため、他の中学校区との学校の統合等について検討を進めていくということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 続きまして、(2) 学校適正配置のシミュレーション、滝野中学校区(案)についてを議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 始めに、資料について、何か確認をしておきたいことはございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、次に、滝野中学校区の学校適正配置のシミュレーション案について、ご意見、ご質問はございますか。

委員 牧の原小学校の適正規模化を図るためには、近隣の小学校はどこも教室数に余裕がないため、少し離れていても、教室数に余裕のある学校に児童を移すしかないと思います。

議長 その他ございますか。

委員 滝野中学校区だけで考えるのは非常に厳しいと思います。
牧の原小学校の児童数増加の緩和策として、他の中学校区と同様に、通学区域制度の弾力的な運用が考えられますが、滝野中学校区内では無理なので、滝野中学校区以外の小学校を考えるしかないと思います。

議長 他にございますか。

<意見等なし>

議長 滝野中学校区については、牧の原小学校は、この中学校区だけでは適正規模化を図ることができないため、滝野中学校区以外の小学校への通学区域制度の弾力的な運用の検討を進めていくということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 続きまして、(3) 義務教育学校の学校適正規模の考え方についてを議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 只今、事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問、ご意見等があれば、お願いいたします。

<意見等なし>

議長 それでは、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 続きまして、(4) 印西市における学校適正配置のシミュレーション(案)についてを議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

議長 始めに、資料について、何か確認をしておきたいことはございますか。

<意見等なし>

議長 　私の方から一点確認ですが、先程、義務教育学校の学校適正規模が決まりましたが、これまで決定した各中学校区ごとのシミュレーション案の中に義務教育学校の検討が入っている中学校区については、印西中学校区、船穂中学校区、小林中学校区、印旛中学校区の4中学校区がありますが、義務教育学校にした場合、前期課程と後期課程を合わせた全体として適正規模校となるのか教えてください。

事務局 　4中学校区の中の中学校区につきましても、全体としては、適正規模の義務教育学校となります。

議長 　続きまして、各中学校区ごとのシミュレーション案で適正規模になっていない学校について、他の中学校区との学校の統合等について審議を進めていきたいと考えておりますが、小規模校については、本埜小学校と本埜中学校の2校、大規模校については、小倉台小学校、西の原小学校、原小学校、牧の原小学校、西の原中学校の5校、準適正規模校については、原山小学校、印西中学校、船穂中学校、小林中学校、印旛中学校の5校となっております。

　まず、小規模校について検討を行い、次に、大規模校、最後に、準適正規模校について検討を行いたいと思います。

　それでは、小規模校について、ご意見、ご質問等がございますか。

委員 　船穂小学校と本埜中学校の小規模特認校制度については、いつ頃、どのような形で継続するのか、やめるのかを決めていくのか教えてください。

事務局 　現在、教育委員会では、令和5年度からの船穂小学校と本埜中学校の小規模特認校制度の本格導入に向けて、手続きを進めているところでございますので、現時点では小規模特認校制度をやめるということは考えておりませんが、各学校における今後の児童生徒数の動向に注視しつつ、学校運営が難しい状況になれば、検討が必要になると考えております。

議長 　その他ございますか。

委員 　本埜中学校区については、滝野中学校区との学校の統合が一番良いと思います。

　他の中学校区については、中学校が準適正規模ですし、通学距離を考えても、距離が遠いと思います。

　ただ、小学校が大規模校になってしまい、滝野小学校の教室数が不足してしまうことが、少し気になります。

議長 他に何かございますか。

委員 保護者のアンケートの結果もありますので、私も同じ意見です。

議長 その他ございますか。

委員 基本的に私も同じ意見ですが、位置的には、小林中学校も良いのではないかなと思います。

ただ、小林中学校にする場合には、一つ心配していることがありまして、今は、小規模校の検討を行っておりますが、最後に検討する準適正規模校については、各中学校区において、全ての学校を義務教育学校にすれば、全体として適正規模になるとのお話ですが、現実的に、市内に4つも義務教育学校を作ることができるのかということ考えたときに、全部を義務教育学校にすることは難しいと思いますので、準適正規模校の中学校同士の統合の可能性があると考えれば、もし、印西中学校と小林中学校を統合することになれば、そこに本埜中学校区も一緒に統合するというのは難しいと考えています。

議長 今ご意見のありました準適正規模校の検討については、義務教育学校と隣接する中学校区との学校の統合のどちらが良いかなどについても、検討を行っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、まずは、本埜中学校について、ご意見をいただきたいと思います。

委員 先程ご意見がありましたが、私は、印西中学校と小林中学校を統合した方が良いと考えていますので、本埜中学校については、小林中学校ではなくて、滝野中学校との統合が良いと思います。

議長 他にいかがですか。

委員 小林中学校と本埜中学校が統合しても準適正規模校であるため、更に印西中学校と統合することになった場合、利用する学校施設が小林中学校ではなく、印西中学校になることも考えられ、その場合には、本埜中学校からの距離がかなり遠くなってしまう可能性もありますので、総合的に考えると、私も滝野中学校が良いと思います。

議長 その他ございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、本埜中学校については、学校規模が適正規模になること、通学距離、保護者のアンケート結果等の理由から、滝野中学校との統合の方向性でよろしいでしょうか。

 <異議なし>

議長 続きまして、本埜小学校については、本埜中学校と同じように、滝野小学校と統合した場合には、滝野小学校が適正規模校から大規模校になってしまうということになりますが、その辺を踏まえ、ご意見等をいただきたいと思います。

委員 本埜小学校は小規模校のため、そのままにすることはできないと思いますので、本埜中学校が滝野中学校と統合するのであれば、本埜小学校も滝野小学校に統合するのが良いと思います。

議長 その他ございますか。

委員 滝野小学校については、大規模といっても、原小学校や牧の原小学校と違って、千人を超える状況ではありませんし、令和9年度をピークに児童数が減少傾向にあるため、本埜小学校と統合しても問題はないと思います。

議長 他にいかがでしょうか。

 <意見等なし>

議長 それでは、本埜小学校については、滝野小学校との統合の方向性でよろしいでしょうか。

 <異議なし>

議長 次に、大規模校について、検討をしていきたいと思いますが、まず、先程、滝野中学校区のシミュレーション案の検討の中でご意見が出ておりました牧の原小学校における通学区域制度の弾力的な運用の具体的な方向性について、ご意見をいただきたいと思います。

委員 1点確認したいのですが、大規模校については、他の中学校区との統合等はできないため、今回検討するのは牧の原小学校だけということが良いですか。

議長 委員の皆様を確認ですが、大規模校の対応としては、増築の対応の他、他の中学校区の学校に通学区域を変更することが考えられますが、現実的にはかなり難しいと考えますので、原則として、増築で対応し、併せて通学区域制度の弾力的な運用を実施していくということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、牧の原小学校における通学区域制度の弾力的な運用の具体的な方向性について、ご意見をいただきたいと思います。

委員 牧の原小学校は、元々木下小学校区の場所に建てられた学校ですので、木下小学校への通学区域制度の弾力的な運用を検討しても良いのではないかと思います。

議長 他にございますか。

委員 地図を見ても、教室数に余裕がある学校で考えると、木下小学校が良いと思います。

議長 その他ございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、牧の原小学校については、木下小学校への通学区域制度の弾力的な運用を実施していくということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 その他の大規模校について、ご意見等はございませんか。

<意見等なし>

議長 それでは、最後の準適正規模校について、検討をしていきたいと思いますが、まず、印西中学校について、ご意見をいただきたいと思いますが、

委員 昔、小林中学校区の人には小林中学校がなかったので、印西中学校まで電車を利用して通学していたこともありますので、今の時代で電車通学は難しいかもしれませんが、適正規模にするためには、印西中学校と小林中学校の統合が良いと思

ます。

小学校については、木下小学校と大森小学校で1校、小林小学校と小林北小学校で1校にするのが良いと思いますが、資料にも記載がありますが、木下小学校と大森小学校のどちらの学校を存続校にするかは難しい問題になると思います。

これまでの基本方針では、学校を統合する場合の存続校は、原則として、児童生徒数の多い学校となっていますが、これからは、それだけではなく、学校施設の耐用年数も考慮に入れた方が良いと思います。

ただ、木下小学校と大森小学校については、耐用年数も同じくらいであるため、結論を出すのは非常に難しいと思います。

議長 会議開始から1時間以上経過したため、ここで、休憩をしたいと思います。

<休憩>

議長 それでは、再開いたします。

印西中学校については、小林中学校との統合という意見が出ておりますが、他にいかがでしょうか。

<意見等なし>

議長 もう1点検討していただきたいことがございまして、今ご意見いただいた小学校同士、中学校同士の統合と義務教育学校のどちらを優先するかについて、ご意見をいただきたいと思います。

委員 義務教育学校の場合には、後期課程については、準適正規模のままということを考えて、義務教育学校ではなく、先程の小学校同士の統合、中学校同士の統合の方が良いと思います。

議長 その他ございますか。

委員 実際に、保護者や地域住民の方の理解を得られるのは、義務教育学校の方であると感じますが、学校運営面や教育的効果を考えると、中学校も適正規模になった方が良いと思いますので、結論としては、義務教育学校よりも小学校同士の統合、中学校同士の統合が良いと思います。

議長 その他ございますか。

委員 確認ですが、今議論をしている義務教育学校というのは、印西中学校区だけの義務教育学校なのか、印西中学校区と小林中学校区を統合した義務教育学校なのか、どちらですか。

議長 印西中学校区だけの義務教育学校となります。
その他ございますか。

委員 繰り返しになりますが、今後、適正配置を進めていく上で、通学距離のことを考慮すると、義務教育学校の方が保護者や地域住民に受け入れられやすいと思います。

建物はどうなるかわかりませんが、印西市には今までにない新しい義務教育学校を選択できる良さがあると思いますので、義務教育学校にする場合のメリットもあるということは意見させていただきたいと思いますが、結論としては、教育的効果を考えると、中学校だけでも適正規模になる印西中学校と小林中学校の統合の方が良いと思います。

議長 確認ですが、中学校が統合したときに施設の受入れ面は可能ですか。

事務局 印西中学校と小林中学校のどちらの中学校も施設の受入れは可能です。

議長 義務教育学校となった場合には、施設の受入れはできないため、施設の増改築が必要になりますが、その辺でご意見ございますか。

委員 施設一体型であれば、施設の増改築が必要となりますが、施設分離型が良いかは難しいところですが、施設分離型という選択肢もあると思います。

議長 施設分離型という選択肢はありますが、これまでの議論の中では、義務教育学校にするのであれば、施設一体型が良いという意見が出ていたと思います。
その他ございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、印西中学校区と小林中学校区については、小学校については、大森小学校と木下小学校との統合、小林小学校と小林北小学校との統合、中学校については、印西中学校と小林中学校との統合により、適正規模化を図るということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 次に、船穂中学校のシミュレーションについて、4つ示されておりますが、印西中学校については、小林中学校との統合ということに決まりましたので、残る木刈中学校、原山中学校、印旛中学校の3校との統合について、ご意見をいただきたいと思いますが、そういう形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 それでは、ご意見ございますでしょうか。

委員 通学距離の面を考慮すると、船穂中学校と原山中学校との統合が良いと思います。小学校も各中学校区ごとのシミュレーションだけでは原山小学校が準適正規模校のままであるため、通学距離や施設受入面を考慮すると、高花小学校との統合が良いと思います。

議長 その他ございますか。

<意見等なし>

議長 今ご意見いただいた小学校同士、中学校同士の統合と義務教育学校のどちらを優先するかについては、先程の印西中学校区と同じ状況であるため、印西中学校区と同様に、義務教育学校ではなく、小学校同士、中学校同士の統合により適正規模化を図るということによろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 続きまして、小規模校である船穂小学校について、ご意見をいただきたいと思えます。

委員 船穂小学校については、来年度から小規模特認校となるため、時期については、難しいところですが、小規模特認校制度を導入しても、状況が変わらないようであれば、船穂小学校を含めて、高花小学校との統合をした方が良いと思います。

議長 その他ございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、船穂中学校区と原山中学校区については、小学校については、高花小学校と船穂小学校と原山小学校との統合、内野小学校はそのまま、中学校については、船穂中学校と原山中学校との統合により、適正規模化を図るということによろしいでしょうか。

 <異議なし>

議長 次に、小林中学校でございますが、先程、印西中学校区で決定したとおりでございます。

 最後に、印旛中学校について、ご意見をいただきたいと思えます。

委員 印旛中学校については、隣接する中学校と書いてありますが、実際には、距離が遠いため、義務教育学校にするのが良いと思えます。

議長 その他ございますか。

委員 印旛中学校区は通学区域がとても広く、印旛中学校が他の中学校と統合することにより、更に通学区域が広がってしまうため、中学校は準適正規模のままですが、印旛中学校区に1校は中学校が必要であると思えます。

議長 その他ございますか。

委員 適正規模化を図るためにも、義務教育学校にして、後期課程は準適正規模となりますが、全体で、適正規模化を図るのが良いと思えます。

議長 その他ございますか。

 <意見等なし>

議長 確認ですが、義務教育学校ということで、施設一体型にするのか、施設分離型にするのかについて、できれば、施設一体型が良いと思えますが、施設受入面は大丈夫ですか。

事務局 施設受入面については、今後、実際にどこの学校であれば、対応が可能であるか検討していく必要があり、時間を要することになりますので、審議会では、施設一体型を優先し、どこの学校も施設の受入れが難しい場合には、施設分離型の検討を行うなどの方向性を出していただければと思えます。

議長 それでは、施設一体型にするのか、施設分離型にするのかについて、ご意見を
いただきたいと思います。

委員 施設受入面を考慮しなくて良いのであれば、施設一体型が良いと思います。

議長 他にございますか。

委員 施設一体型が良いとは思いますが、現実的にどうなのかなと思います。

議長 その他ございますか。

委員 施設一体型を目指してほしいと思いますが、難しいようであれば、いには野小
学校と印旛中学校は距離が近いため、施設分離型でも良いと思います。

議長 その他ございますか。

<意見等なし>

議長 それでは、印旛中学校区については、施設一体型の義務教育学校とすることと
しますが、難しいようであれば、施設分離型について、検討していくということ
でよろしいでしょうか。

<異議なし>

議長 今まで検討してきた以外の学校で検討した方が良い学校があれば、意見を出して
いただきたいと思います。

<意見等なし>

議長 それでは、議題（４）の印西市における学校適正配置シミュレーション（案）に
ついては、以上のおり決定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょ
うか。

<異議なし>

議長 続きまして、議題の（５）その他について、何かございますか。

事務局 12月12日に開催した原小学校区における施設教室数不足の対応案に係る意見交換会について、ご報告させていただきます。

12月12日の10時より、原小学校会議室において、原小学校区における施設教室数不足の対応案について、保護者代表との3回目の意見交換会を行いました。

会議に際しまして、保護者と教職員の会から本委会役員13名、原小学校から校長及び教頭、教育委員会から伊藤教育総務課長、佐久間学務課長、他4名が出席しております。

教育委員会から、原小学校敷地内の増築の課題と対応につきまして、説明後、保護者代表の皆様からご意見をいただきました。

主な意見といたしましては、運動する場所、遊びのスペースの確保に関しまして、水泳学習の場として、教育委員会から2学年を民間のスイミングスクールに委託するという案を出しており、その案について、2学年だけではなく、より多くの学年を対応してほしいという意見がございました。

また、隣接する公園を昼休みの遊びの場として活用することを考えておりますが、その際には十分な安全対策をお願いしたい、子供たちにとって、業間休みなどに外へ出て息抜きをする時間は重要なので、できれば、全員が一斉に運動場に出て遊べるようにしてほしいといった意見がございました。

また、高花小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用の導入に関しまして、高花小学校の進学先である船穂中学校についても、距離が遠いため、スクールバスを出してほしいといった意見がございました。

その他の意見として、第二図書室を作ってほしい、図書の蔵書数も不足しているため、充実させてほしい、敷地内に校舎を増築することは避けられないにしても、将来的には、分離新設をお願いしたい、西の原中学校の大規模化を懸念しているといった意見をいただいております。

なお、次回につきましては、1月下旬に原小学校保護者及び原小学校区の4、5歳児の未就学児の保護者を対象に説明会を開催する予定となっております。

議長 何かご質問等はございますか。

<意見等なし>

議長 その他について、他に何かございますか。

事務局 特にございません。

議長 本日の議題につきましては、全て終了しました。
進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。
続きまして、次第の4、その他に入らせていただきます。
事務局から、連絡事項がございますので、担当からご説明いたします。

<次回以降の会議日程及び委員報酬について説明>

事務局 事務局からの連絡事項は以上でございます。
その他ということで、委員の皆様からは何かございますか。

<なし>

事務局 それでは、以上をもちまして、令和4年度第6回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。
長時間にわたり、ご審議をいただきまして、ありがとうございました。

会議資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 学校適正配置のシミュレーション【本埜中学校区】(案)
- ・ 資料2 学校適正配置のシミュレーション【滝野中学校区】(案)
- ・ 資料3 義務教育学校の学校適正規模の考え方について
- ・ 資料4 印西市における学校適正配置のシミュレーション(案)について
- ・ 参考資料1 令和10年度における小学校の学校規模の状況
- ・ 参考資料2 令和10年度における中学校の学校規模の状況
- ・ 参考資料3 隣接する中学校区との学校の統合について

令和4年度第6回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和5年1月17日

委 員 桜井 繁光

委 員 押田 香代子